

下田総合庁舎 定例記者懇談会資料

令和5年9月22日

賀茂地域局

次回の定例記者懇談会
令和5年10月25日（水）
午前9時30分から
会場：賀茂キャンパス

目 次

◎重要施策発表

令和5年度静岡県賀茂地域局における主な取組	1
	(賀茂地域局)

◎10月の行事予定

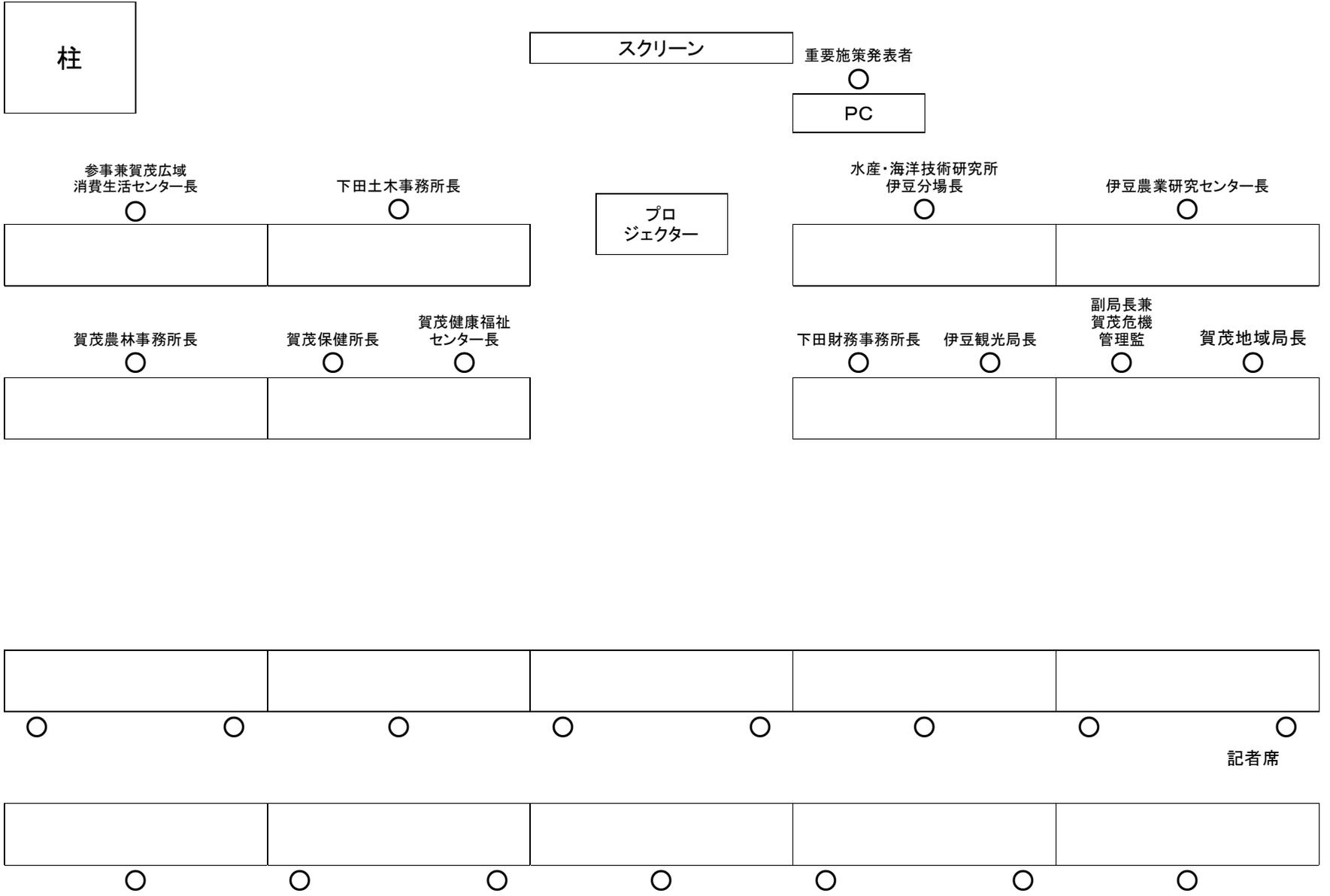
行事予定表	12
賀茂キャンパス活用プログラム「静岡県立大学 社会人講座」第31回講座	14
	(賀茂地域局地域課)
令和5年度「静岡県立大学 高校生のための観光講座」第3回講座	16
	(賀茂地域局地域課)
河津町及び下田市遺体収容所運営訓練の実施について	17
	(賀茂地域局危機管理課)
防災講座の開催	18
	(賀茂地域局危機管理課)
「伊豆・富士山歴史絵巻 Web スタンプラリーwith 大河ドラマ館」を実施します	20
	(伊豆観光局)
軽油引取税に係る自動車用燃料の路上抜取調査結果について	21
	(下田財務事務所)
保育施設向け「感染症対応研修会」を開催!	22
	(賀茂健康福祉センター)
10月は里親を求める運動月間(里親月間)です	23
	(賀茂健康福祉センター)
農業経営改革講座 経営計画発表会	24
	(賀茂農林事務所)
くくりわな技術向上講習会の開催について	25
	(賀茂農林事務所)
土木のちからで、軟弱地盤を攻略します!	28
	(下田土木事務所)

定例記者懇談会構成員名簿

	役職名	氏 名
1	賀茂地域局長	しらとり みちひろ 白鳥 満啓
2	賀茂地域局副局長兼賀茂危機管理監	ぬまの かつし 沼野 克史
3	伊豆観光局長	いちかわ けん 市川 顯
4	下田財務事務所長	かみや あきよし 神谷 明良
5	賀茂健康福祉センター所長	すずき ふじお 鈴木 藤生
6	賀茂健康福祉センター医監兼賀茂保健所長	ほんま よしゆき 本間 善之
7	賀茂農林事務所長	もろた りょう 諸田 僚
8	農林技術研究所伊豆農業研究センター長	たねいし もとひろ 種石 始弘
9	水産・海洋技術研究所伊豆分場長	よしかわ やすお 吉川 康夫
10	下田土木事務所長	とつか ひろふみ 戸塚 博文
11	賀茂広域消費生活センター所長	くらしま ひろあき 倉島 浩彰
12	賀茂地域教育振興センター参事	つちや かずみ 土屋 一巳
13	賀茂地域局次長兼地域課長	しらつち たつお 白土 達夫
14	賀茂地域局参事兼危機管理課長	すずき かなめ 鈴木 要

賀茂地域定例記者懇談会 座席表

(下田総合庁舎別館 2階 賀茂キャンパス)



出入口

記者席



令和5年度 静岡県賀茂地域局における主な取組

令和5年9月22日 賀茂地域局

1. 賀茂地域局とは

(1) 役割と業務

① 役割

複合的な要素を含む地域の政策課題を解決するため、地域局を地域における中核機関と位置づけ、市町や地域の各種団体等との連携を強化し、平時から災害発生時、その後の復興期までを見据えた**安全・安心で魅力ある地域づくりを推進**

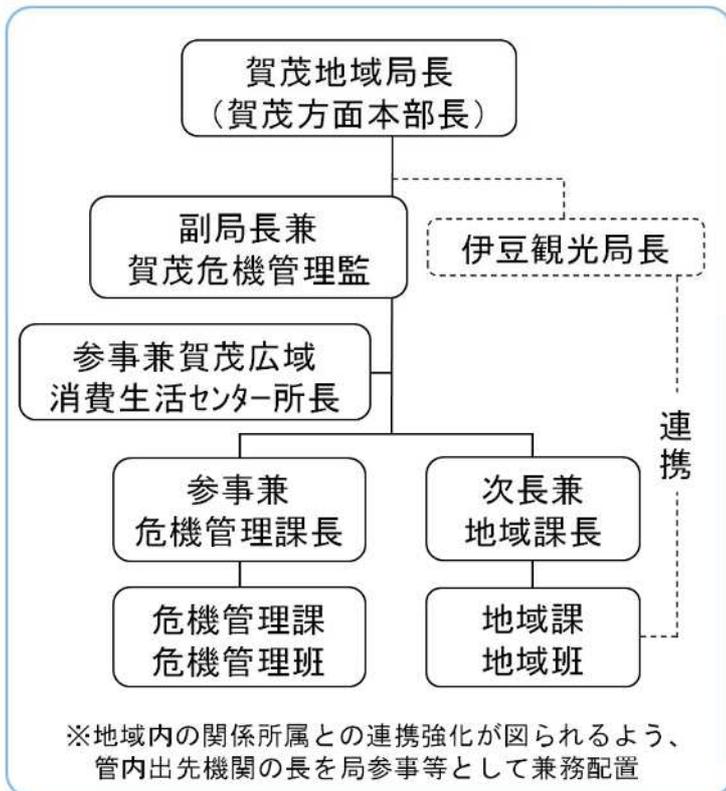
- ア 早期の危機管理体制の充実
- イ 市町・地域の政策課題の拾い上げ
- ウ 政策課題の解決に向けた連携促進

② 業務

県総合計画で定める地域づくりの基本方向に従い、**賀茂地域1市5町の危機管理と地域振興の重要施策を担い**、伊豆半島地域が『世界レベルの魅力あふれる自然を生かした観光交流圏』となるよう、その実現に向け取り組む。

- ア 危機管理
 - (ア) 危機管理対策の推進
 - (イ) 地域防災力の強化
- イ 地域振興（※伊豆半島全体で連携）
- ウ 広域連携の推進

(2) 組織



○静岡県賀茂地域局における主な取組について御紹介いたします。

○まず、役割と業務についてです。

賀茂地域局は、賀茂地域の振興と危機管理体制の強化に向けた施策を進めるため、前身の「賀茂振興局」を母体に、平成30年4月に設置。

○地域における中核機関として、安全・安全で魅力ある地域づくりを推進するため、

- ア 危機管理体制の充実
 - イ 市町・地域の政策課題の拾い上げ
 - ウ 政策課題の解決に向けた連携促進
- を担っています。

○業務としては、「賀茂地域1市5町の危機管理と地域振興の重要施策を担い、伊豆半島地域が、『世界レベルの魅力あふれる自然を生かした観光交流圏』となるよう、

①危機管理、②地域振興、③広域連携の推進、に取り組んでいます。

○組織についてですが、賀茂地域局長をトップに、副局長兼賀茂危機管理監を配置。危機管理課と地域課の2課を設置しています。

○さらに、伊豆半島地域全体の観光振興を担う「伊豆観光局長」と連携するとともに、賀茂地区1市5町全体をカバーする、賀茂広域消費生活センター所長を置き、消費生活相談の実施や消費者教育の推進、県民相談などを行っています。

2. 危機管理

(1) 賀茂方面本部の危機管理体制

① 賀茂地域の地形と特徴

伊豆は詩の国であると、世の人はいう。
 伊豆は日本歴史の縮図であると、或る歴史家はいう。
 伊豆は南国の模型であると、そこで私はつけ加えていう。
 伊豆半島全体が一つの大きな公園である。
 一つの大きい遊歩場である。
 つまり伊豆半島のいたるところに自然の恵みがあり、
 美しさの変化がある。

川端康成「伊豆序説」より



絶景と災害リスクが共に存在

天城山系から派生する急峻な地形は平地に乏しい一方、
 海岸線が長く、複雑な地形をなしていることから、
 大規模地震が発生した場合には、
 津波による甚大な被害が予想されるとともに、
 管内の道路交通基盤が脆弱であるため、
 賀茂地域は孤立する可能性が指摘されている。

令和4年度賀茂地域局監査調査「概況」より

(2) 地域防災力の強化

① 地域防災力強化施策

実施施策	内容
市町本部運営訓練	訓練実施による市町本部強化への支援
関係機関担当者会議	応援側・受援側双方の連絡体制の確認
賀茂指揮官会議	賀茂管内指揮官による顔の見える関係づくり
避難所運営訓練	市町・自主防・学校が連携した訓練を支援
学校防災講座	局員講師により賀茂管内全ての学校で実施



市町災害対策本部運営訓練



避難所運営訓練

② 管内各学校における防災講座の実施

賀茂地域局職員（県教委併任職員）が講師を務める
 学校防災講座を、**賀茂管内ほぼ全ての学校（幼保・
 小・中・高校等計49校）において実施。**



○これからは、地域局の主な取組について、個々に御紹介いたします。

○まず危機管理についてです。

○資料には、川端康成の「伊豆序説」の一部を紹介しておりますが、
 当地域は、自然豊かで、風光明媚である一方、その地形的な背景から、
 地震や津波のリスクが高い地域であります。

○とりわけ、大規模地震が発生した際には、津波による甚大な被害が予想されるとともに、
 地域一帯が孤立する可能性も指摘されており、他の地域以上に、防災力の強化が
 喫緊の課題となっています。

○このため、資料に記載のとおり、市町や関係機関と連携し、訓練や会議などを
 年間を通じて計画的に実施しています。

○また、地域防災力の強化には、住民の皆様の防災意識の醸成が不可欠です。

○賀茂地域局では、賀茂管内のほぼ全ての学校（幼保・小・中・高校）に職員が出向いて
 防災講座を実施するなど、次代を担う若い世代に対する防災教育に力を入れています。

2. 危機管理

(3) 地域防災力強化のための連携体制構築（賀茂地域内関係機関連携）

① 賀茂指揮官会議（7月6日開催）

賀茂管内の防災を担う県・市町・防災関係機関の指揮官が集い、連携強化と地域防災力向上を図る。

【今回のテーマ】

災害対応における「応援」と「受援」

令和4年台風第15号における対応等を踏まえながら、応援側の防災関係機関、受援側の市町、調整役の県、それぞれの立場からの講演と、災害応急対策活動の課題と対応について相互共有する。

受援側 (市町)	講演者	川根本町総務課長
	要旨	災害時の市町対応とその課題
応援側 (陸自)	講演者	陸上自衛隊第34普通科連隊長
	要旨	部隊派遣概要と市町への助言
調整役 (県)	講演者	県危機管理部参事(市町支援担当)
	要旨	市町本部運営に係る県からの助言
特定課題	提案者	下田警察署長
	要旨	遺体収容所運営訓練の連携対応

② その他の連携行事（予定）

時期	行事内容
8月	総合防災訓練(本部運営訓練)
9月	海路を活用した防災訓練
10月	賀茂地域ライフライン防災連絡会
10～11月	遺体収容所運営訓練(下田市ほか)
1月	地震対策オペレーション2024
2月	市町危機管理担当課長会議



賀茂指揮官会議の様子

○次に、地域防災力強化のための連携体制の構築に向けた取組についてです。

○災害時に迅速かつ的確に対応するためには、常日頃から、県・市町・防災関係機関が緊密な連携体制を構築しておくことが重要です。

○このため、市町の首長や、自衛隊、警察、消防、海上保安部などのトップが一堂に会する「賀茂指揮官会議」を毎年開催し、「顔の見える関係」の構築に努めています。

○本年度は、7月6日、「災害時における「応援」と「受援」について」をテーマに、実施しました。

○具体的な内容ではありますが、
 昨年の台風15号における対応等を踏まえ、応援側の防災関係機関、
 受援側の市町、調整役の県、それぞれの立場からの講演していただくとともに、
 災害応急対策活動についての意見交換を行ったところであります。

2. 危機管理

(4) 駿河湾フェリー等を活用した海上輸送訓練

大規模災害時に、陸路による支援が困難となる場合に備え、海からの支援体制を強化するため、静岡県、清水港湾事務所、松崎町は関係機関と合同で松崎港（松崎新港）において、駿河湾フェリー等による入出港訓練・緊急物資輸送訓練等を実施。

駿河湾フェリーを活用した緊急物資輸送訓練は初めての実施となる

海上輸送訓練の状況（9月6日実施）



※ 本訓練は、西伊豆地域沿岸部において豪雨による土砂災害が発生し、陸路による支援が困難となる場合を想定。

(5) 遺体収容所運営に係る取組

賀茂地域局が調整役となり、管内市町、下田警察署及び賀茂健康福祉センターと連携して遺体収容所運営に係る取組を実施。

【担当者会議】

- ・ 8月25日に開催し、市町からは防災及び遺体措置担当課の職員が出席
- ・ 遺体収容所運営に係る課題や、令和5年度及び令和6年度以降の訓練等対応スケジュールを共有

【訓練実績・訓練スケジュール】

市町	令和5年11月19日(日)	令和5年6月25日(日)
下田市	令和5年11月19日(日)	令和5年6月25日(日)
東伊豆町	平成26年度実施済み	—
河津町	令和5年10月25日(水)	令和5年9月12日(火)
南伊豆町	令和4年度実施済み	—
松崎町	令和6～7年度実施予定	令和5年9月9日(土)
西伊豆町	令和6～7年度実施予定	令和5年9月26日(火)

※ 右列は、市町と警察で資機材配置と手順確認のみ実施する小規模訓練

【今後の対応スケジュール】

会議	毎年開催し、担当者間で関連情報や課題を共有
訓練	管内市町の持ち回りにより年1回開催し、他市町がそれを視察することにより全市町が継続的にノウハウを習得

○次に、危機管理に関する最近の取組について御紹介します。

○1つは、駿河湾フェリー等を活用した海上輸送訓練です。

○賀茂地域は、大規模災害時に陸の孤島となる可能性があり、海からの支援体制を構築しておくことが重要であります。

このため、県交通基盤部港湾局を中心に、国土交通省清水港湾事務所、松崎町などと合同で松崎新港などを会場に訓練を行ったものです。

○具体的な訓練内容は、

①避難者輸送、②災害対策車両の乗船・下船、③支援物資荷下ろし、④給水支援であり、駿河湾フェリーを活用したこのような訓練は初めてであります。

○今後も、海・空からの支援体制を構築するための訓練を重ねていく予定です。

○また、遺体収容所の運営等についても、地域局が調整役を担い、市町、警察、健康福祉センターや医師会など関係機関と連携し、訓練を行っていくことを計画しています。

○訓練や担当者会議を計画的に実施し、災害への備えを強化してまいります。

3. 地域振興

(1) 広域連携の推進

賀茂地域広域連携会議

賀茂地域の振興と危機管理体制強化に向けた施策を進めるため、平成27年4月より、**賀茂地域6市町と県が連携し「賀茂地域広域連携会議」を**



を設置し、人口減少問題や地域の主産業である観光産業の低迷等の地域課題への取組を推進している。

「決定する会議」のほか、各首長がざくばらんに情報交換等を行う「意見交換する会議」を非公開で開催しており、令和4年度からは、土屋前静岡県特別補佐官の退任に伴い、**経営管理部長を議長として開催し、地域の課題解決に向けた連携の方針や計画等を協議している。**令和5年度は、第2四半期から各1回、年3回(公開2回、非公開1回)の開催を計画している。

<令和4年度の開催状況>

回次	開催日	協議・意見交換
第31回 [公開]	R4.7.6(水)	・美しい伊豆創造センターと連携した取組の検討 ・共同調達の可能性の検討について
第32回 [非公開]	R4.12.23(金)	・賀茂地区の県立高校の在り方について ・賀茂地域における大学との連携強化について
第33回 [公開]	R5.3.29(金)	・若者にとって魅力ある賀茂地域づくりについて ・コロナ5類以降後の経済活性化策について

<第34回 賀茂地域広域連携会議 [公開]>

日時	令和5年8月1日(火)午後3時30分～5時
会場	賀茂キャンパス(下田総合庁舎 別館2階)
議事(案) 【調整中】	<p>(報告事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①教育委員会の共同設置専門部会の進捗について ②大学連携について ③県の観光支援策について ④下田市と県による道路管理一元化の取組について ⑤DXの推進について <ul style="list-style-type: none"> ・ドローンの活用 ・3次元点群データの活用 ・生成AIの利用 ・デジタル田園都市構想交付金 <p>(協議事項)</p> <p>静岡県デジタル戦略顧問によるDXの推進関連の講演と、意見交換を実施</p> <p>講師：坂下 哲也 静岡県デジタル顧問 〔(一社)日本情報経済社会推進協会 常務理事〕</p>

○次に、地域振興の取組について紹介します。

○まず、広域連携の推進についてであります。

○賀茂地域1市5町の首長を構成員とする「賀茂地域広域連携会議」を平成27年4月から開催し、地域課題の解決に向けた連携の方針などを協議しています。

○人口減少やこれに伴う様々な地域課題に対し、県と1市5町が連携して対応を検討していくもので、年間3回程度の開催を予定しています。

○今年度は、1回目となる会議を、8月1日に開催したところです。

○この会議では、教育委員会の共同設置専門部会の進捗や、大学連携の取組などについて報告を行ったほか、人口減少が進む地域の将来を見据え、「DXの推進」を議題とした基調講演を行った上で、意見交換を行いました。

○なお、基調講演は、県のデジタル戦略顧問を務める、坂下哲也氏にお願いし、「未来に向けたDXについて」と題して、市町がDXを推進するために必要な事項などお話しいただいたところです。

○この連携会議を通じ、市町とともに地域課題の解決に取り組んでいくこととしています。

3. 地域振興

(2) 地域が好き・誇りに思える子を育てる取組

① 大学連携の推進（賀茂キャンパスの活用推進）

地域課題・・・**地域内に大学がない**ため、多くの子どもたちは高校卒業後、**進学のために地域外に出るが、そのまま戻らない**ケースが多い

経験を積んだ後子どもたちに  地元に戻ってきてもらうために

「賀茂地域教育振興方針」(H29.2策定)

基本理念：「『賀茂は一つ』の想いのもと、ふるさとに誇りと愛着を持ち、地域の発展に貢献できる人」(賀茂の子)を育てる

地域が好き・誇りに思える子を育てる

静大、県大、文芸大と賀茂地域1市5町の相互連携協定 (H29.12締結)

人・まちづくり、人材交流の活性化、地域振興、地域産業の活性化、人口減少などによって生じる諸課題等に市町と大学がともに取り組む
⇒大学・大学生(地域外に住む若者)が定期的に地域内で活動すること自体が地域の活性化に繋がるとともに、住民の学びの場の創出、大学生と子どもたちが交流することによる**進路意識・郷土愛の醸成、将来的な交流人口・関係人口の増加などの効果が期待**できる。

令和2～3年度

- ・下田総合庁舎の1フロアを賀茂キャンパスとして活用開始
- ・コロナ禍のためオンライン中心



地域住民向け
社会人講座

大学生による
大学生向け
賀茂地域ツアー
『若旅』

令和4年度

- ・新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながら、原則対面による取組を**県・市町教育委員会や管内高校と連携**して実施
- ・「賀茂キャンパス便り」を発行し、取組を周知

観光人材育成のための社会人講座

地域住民向け講座を毎月開催



しずおか寺子屋 IN賀茂キャンパス

小中学生へ
大学生による
学習支援



アカデミックスクール

高校生と大学生
が一緒にフィールドワーク体験



未来を切り拓く Dream授業

地域で活躍している大人が中学生へ特別講義



『若旅』 IN賀茂キャン

大学生による
大学生向け賀茂地域バスツアー



令和5年度

- ・令和4年度の取組を継続
- ・**対面・オンラインそれぞれの利点を考慮**して、個別の取組の実施方法や回数等を関係機関と検討していく。

(主な取組予定)

- ・社会人講座(月1回以上)
- ・小中学生への学習支援(8月)
- ・地域で活躍している大人による特別講義(8月)
- ・「賀茂キャンパス便り」による取組の周知

○次に、地域が好き・誇りに思える子を育てる取組のうち、大学連携の推進についてであります。

○賀茂地域は、管内に大学などの高等教育機関がないため、高校を卒業後は、進学のため地域の外に出てしまい、それが人口減少の大きな要因になっています。

○いったん進学などで管外に出ても、知識や経験を習得した後、いずれ地元に戻ってもらえるよう、ふるさとに誇りや愛着を持ち、地域の発展に貢献できる子供（「賀茂の子」）を育てることを、賀茂地域の教育振興方針に決めました。

○この方針に基づく取組の端緒は、静岡大学、静岡県立大学、静岡文化芸術大学の県内公立3大学と賀茂地域1市5町との間で、平成29年12月に締結した相互連携協定であり、賀茂キャンパスなどをフィールドに様々な取組を進めてまいりました。

○令和2年度から令和4年度までの約3年間は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、活動が限定的となりましたが、本年度は、ようやく本格的に活動が展開できるようになりました。

3. 地域振興

(3) 大学連携・賀茂キャンパスの活用推進

「ふるさとに誇りと愛着を持ち、地域の発展に貢献できる人」(賀茂の子)を育むため、大学連携・賀茂キャンパスの活用を推進する。

① 未来を拓くDream授業 賀茂版 (8/3, 4開催)

賀茂地域で活躍する大人が講師となり、日常では目に触れることのない地域の魅力や実情等を講義

フィールドワークでは西伊豆の潮鯉加工場を見学

〔参加者〕中学生24人 〔主催〕教育委員会教育政策課



② アカデミックサマースクール (8/5開催)

高校生と静岡県立大学生と一緒にフィールドワークを行い、地域課題についてグループディスカッションを実施

今年度は東伊豆町稲取地区で、空き家を活用した施設の見学や、地域づくりに携わる移住者等と交流

〔参加者〕高校生9人、大学生8人 〔主催〕賀茂地域局



③ しずおか寺子屋in賀茂 (8/7, 8開催)

賀茂地域の小中学生を対象に、教員志望の地域の高校生や県内大学生が学習支援

〔参加者〕小学生71人、中学生17人
高校生29人、大学生13人

〔主催〕教育委員会社会教育課



④ 静岡文化芸術大学×トルコイズミル経済大学との連携

8/30～9/6 両大学が南伊豆町を拠点に賀茂地域で地域課題をテーマとした国際デザインワークショップを実施

8/30(水)は公開シンポジウムを開催

〔参加者〕約100人 〔主催〕南伊豆町



⑤ 下田高校観光講座 (6/17, 7/15, 9/30, 10/14開催)

下田高校の生徒を対象に「高校生のための観光講座」を開催

静岡県立大学 八木教授を講師に、全4回の講座やフィールドワークを通じた地域課題についての議論や大学生と交流

〔参加者〕高校生10人

〔主催〕静岡県立大学



○今年度の取組について御紹介します。

○「①未来を拓くDream授業 賀茂版」

8月3日(木)、4日(金)の二日間にわたり、賀茂キャンパスで開催。

中学生を対象に、地域で活躍する大人から、地域の魅力や実態について講義を実施。

二日目には、西伊豆町の潮鯉の加工場を視察し、地域の食文化についての理解を深めました。

○「②アカデミックサマースクール」

8月5日(土)、東伊豆町稲取で高校生と静岡県立大学とのフィールドワーク、グループディスカッションを実施。空き家を活用したカフェの見学や、地域づくりに携わる移住者たちとの交流を通じて地域課題について議論しました。

○「③しずおか寺子屋in賀茂」

8月7日(月)、8日(火)の二日間にわたり、賀茂キャンパスで開催。

教員志望の高校生や静岡大学の学生たちが、小・中学生の勉強を支援。

二日目の午後は、現役の教員と大学生、高校生との交流や意見交換も行いました。

○他にも資料④、⑤のような取組を行いました。

今後も大学連携、賀茂キャンパスを活用した取組を推進してまいります。

3. 地域振興

(4) 地域が好き・誇りに思える子を育てる取組

② 賀茂地域住民アンケート調査

人口減少や少子高齢化等の課題解決に向け、賀茂地域が新たな価値を創造できる場所、新たな生き方を実現できる場所となるために、必要な施策について、考察を行うことを目的に賀茂地域の小中高の最高学年などに対して、3年に一度アンケート調査を実施している。

<学生アンケート結果>

Q:15年後に賀茂地域に住んでいたいか?



H28調査開始時点から『はい』（住んでいたい）が
12ポイント減少

R4 『はい』の理由	割合	R4 『いいえ』の理由	割合
安心感・地域愛	39%	不便な田舎	36%
豊かな自然	23%	外の世界への憧れ	30%
家族や友人	15%	仕事や夢	25%
地元で働く	10%	地元への不安	4%
その他	13%	その他	5%

前回（令和元年度）アンケート結果では、賀茂地域に「働く場所がない」「活躍できる場所がない」という意見が多く寄せられた。

賀茂地域で

- ・自分のやりたい仕事をいきいきとしている
- ・地域の資源を生かした仕事をしている
- ・地域に魅力を感じ、地域にこだわって活躍している人たちを



賀茂のカリスマ (カモスマ)

として地元住民へ紹介



<令和5年度の取組>

今回（令和4年度）のアンケート結果においても、「仕事や夢」が住んでいく理由に挙がっている。
⇒ アンケート分析結果を地元新聞にて住民へ周知（R5.5.27伊豆新聞）
⇒ 「Uターン」に焦点を当てたカモスマの拡充（新聞記事×動画配信）

- 次に、賀茂地域住民アンケート調査についてであります。
- 「賀茂の子」を育てる取組の検討を行うために、小6、中3、高3の各世代を対象に、3年に一度アンケート調査を実施。
- 昨年行った直近のアンケート結果では、調査開始から3期連続で「15年後に賀茂地域に住んでいくたくない」の割合が上昇しました。
- 前回（令和元年）の調査結果では、「地元で働く場所がない」や「やりたい仕事がない」、「若者が活躍できる場所がない」など仕事に関する意見が多く挙げられました。
- そのため、地元の仕事に着目し、これまで関わりのなかった分野の仕事について理解を深めてもらう「賀茂のカリスマ」（カモスマ）を紹介する事業を実施しています。
- 令和5年度は、アンケートの分析結果を住民に知ってもらい関心を持ってもらうとともに、「Uターン」や「企業」へ焦点を当てた「カモスマ」の拡充を図ることとしました。
- 現在、「カモスマ」のYouTube動画を配信するとともに、「カモスマ」のメンバーによる出前講座を実施して、直接中学校・高校の生徒に知っていただく企画を進めています。

3. 地域振興

(5) 移住定住の促進

① PRグッズ等の作成・活用

移住定住の促進及び地域の子もたちの郷土愛醸成を目的とし、賀茂地域を魅力的に静岡県内外に紹介する広報PRグッズ（ノベルティ）を制作。

（今後の活用方法）

- 関東圏での移住フェアや地域のイベント等で配布！
⇒「賀茂地域」の知名度向上移住者及び関係人口の増加
- イベント等で地域の子もたちに配布！
⇒地元の魅力再発見の機会創出郷土愛醸成



デザイン制作は、

下田市で活躍する土屋尊司さんに依頼☆

制作したクリアファイルとトートバック

② 移住イベントでの地域PR

8/19（土）
静岡まるごと移住・就職フェア
@東京交通会館12階

9/9（土）
伊豆半島南部地域移住セミナー
@東京交通会館8階

オリジナルトートバッグや
ファイルバッグを配布しながら、
賀茂地域の魅力をPR！



8/19
静岡まるごと移住・就職フェア



9/9
伊豆半島南部地域移住セミナー

○次に、移住定住の促進に向けた取組についてであります。

○本県は、豊かな自然環境や温暖な気候、東京圏からの近接性など、様々な魅力が評価され、3年連続「移住希望地ランキング1位」に選ばれました。

○こうした状況に甘んじることなく、賀茂地域における移住定住の促進を継続的に取り組んでいくことが必要であり、この取組の一環として、賀茂地域の魅力を県内外に紹介する広報PRグッズを作成しました。

○賀茂1市5町の名所や特産品などの魅力を詰め込んだ、温かみのあるデザインとなっており、「welcome to KAMO」には、移住や観光など、何らかの形で賀茂地域を訪れてほしいという、願いも込めています。

○8月19日と9月9日の2回、東京交通会館で開催した移住関連イベントで、このグッズを配布しながら、賀茂地域の魅力発信も行ったところであり、管内市町と連携しながら移住定住の促進を進めています。

3. 地域振興

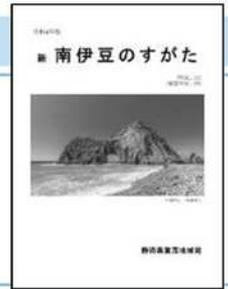
(6) 『新南伊豆のすがた』の発刊

南伊豆地域の過去や現状を深く理解するために、**様々な統計を掲載**。昭和39年から毎年発行している。

<掲載データ>

- (1) 概況、(2) 人口、(3) 観光業・商工業の状況、(4) 県税の状況、
- (5) 農林水産業の状況、(6) 交通の状況、(7) 教育、
- (8) 財政・生活・その他、(9) 付録(賀茂地域住民アンケート他)

- 冊子概要: A4版106ページ(モノクロ印刷)
- 配布開始日: 令和5年6月
400冊を印刷、内140冊を無料で希望者へ配布
- その他: 県HPへの掲載



(7) 東アジア文化都市事業PR

① 「第84回黒船祭」でのブース出展

開催日: 5月19日(金)~21日(日)

内容:

- ブース内でのパンフレット等配布
 - 伝統文化体験(子ども向け折り紙教室)
 - ふじっぴーの活用
ステージ及び来場者との写真撮影時に
同行職員が事業PR
 - 防災関連の取組PR
- (参考)黒船祭全体来場者: 約20万2,900人



ふじっぴーを活用



賀茂地域局ブース



子どもを中心に多くの方が
ブースを訪れました

② Instagramでの情報発信



黒船祭PR

「ぜひお越しください!」



ブース出店中

「お立ち寄りください!」

賀茂地域Instagramで
管内の様々な『文化』
について発信

- ・認証プログラム
- ・イベント情報
- ・スポーツ、食、花、
地域産業 etc.



↑是非ご覧ください↑

○次に、「新・南伊豆のすがた」の発刊についてであります。

○昭和39年から毎年発行しており、最新号で通算59号となりました。

○掲載データは、①概況、②人口、③観光業・商工業の状況、④県税の状況など、賀茂地域の現状を深く理解するために必要な統計データが網羅されています。

○様々な施策を推進する上での基礎資料としても活用しているところです。

○最後に、東アジア文化都市事業のPRについてです。

○東アジア文化都市事業PRの一環として、今年5月に下田市で開催された黒船祭でブースを出展しました。ここでは、パンフレット配布やふじっぴーを活用したPRを行うとともに、伝統文化体験として子ども向け折り紙教室を行うことで『文化』への興味を醸成しました。

○また、賀茂地域局のInstagramで管内の様々な分野の文化に関する情報を発信しております。是非とも御覧いただきたいと思っております。

○以上で、賀茂地域局における主な取組について説明を終わります。

行事予定表（令和5年10月分）

日	曜日	賀茂地域局	下田財務事務所	賀茂健康福祉センター	賀茂農林事務所	下田土木事務所
1	日			里親月間（ポスター掲示等） （～31日 庁舎1階ロビー）		
2	月	防災講座（稲生沢小学校） 9:20-10:05 稲生沢小学校				
3	火	防災講座（地震体験、ICT） 13:25-15:05 稲取小学校		感染症対応研修会		
4	水	防災講座（浜崎小学校） 10:10-11:45 浜崎小学校				
5	木	防災講座（河津小学校） 9:20-11:05 河津小学校				
6	金					
7	土					
8	日					
9	月					
10	火					
11	水				くくりわな講習会 9:30～ 河津町役場 ほか	
12	木	防災講座（浜崎小学校） 13:05-14:40 浜崎小学校				
13	金	①防災講座（伊豆下田分校） ②防災講座（下田小学校） ①10:35-11:50 伊豆下田分校 ②13:00-14:35 下田小学校				
14	土	高校生のための観光講座 13:30-15:00 下田高校				
15	日					
16	月	①防災講座（南伊豆認定こども園） ②防災講座（河津小学校） ①9:30-11:00 南伊豆認定こども園 ②14:30-15:15 河津小学校				
17	火	防災講座（松崎中学校） 13:30-15:20 松崎中学校			経営改革講座 13:30～ 下田総合庁舎	
18	水					
19	木	防災講座（河津小学校） 9:20-12:00 河津小学校				
20	金	観光人材育成のための社会人講座 13:30-15:00 賀茂キャンパス				
21	土					
22	日					
23	月	①防災講座（下田小学校） ②防災講座（下田看護専門学校） ①10:10-11:45 下田小学校 ②14:50-16:20 下田看護専門学校				
24	火	防災講座（稲取中学校） 11:30-15:30 稲取中学校				
25	水	①定例記者懇談会 ②防災講座（松崎幼稚園） ③河津町遺体収容所運営訓 ①9:30～ 賀茂キャンパス ②10:00-11:00 松崎幼稚園 ③9:00-15:00 河津町B&G 海洋センター体育館				
26	木	①下田中学校 生徒職場体験受入 ②防災講座（松崎小学校） ①9:00-16:00 賀茂地域局 ②9:10-11:00 松崎小学校				下田中学校 生徒職場体験受入 9:00-16:00 下田土木事務所
27	金	下田中学校 生徒職場体験受入 9:00-16:00 賀茂地域局				下田中学校 生徒職場体験受入 9:00-16:00 下田土木事務所
28	土					
29	日					
30	月	防災講座（稲生沢小学校） 13:20-14:55 稲生沢小学校				
31	火					

行事予定表（令和5年10月分）

日	曜日	農林技術研究所 伊豆農業研究センター	水産・海洋技術研究所 伊豆分場	賀茂広域 消費生活センター	賀茂地域 教育振興センター	伊豆観光局
1	日					伊豆・富士山歴史絵巻 Webスタンプラリーwith大河 ドラマ館 9月29日（金）～11月30日 （日）
2	月					
3	火					
4	水					
5	木					
6	金					
7	土					
8	日					
9	月					
10	火					
11	水					
12	木					
13	金					
14	土					
15	日					
16	月					
17	火					
18	水					
19	木					
20	金					
21	土					
22	日					
23	月					
24	火					
25	水					
26	木		①下田中学校 生徒職場体験受入 ②講演会 「黒潮大蛇行と磯焼け」 ①9:00-16:00 伊豆分場 ②15:30-17:00 湯けむり ホール			
27	金		下田中学校 生徒職場体験受入 9:00-16:00 伊豆分場			
28	土					
29	日					
30	月					
31	火					

令和5年9月22日

定例記者懇談会資料

賀茂キャンパス活用プログラム「静岡県立大学 社会人講座」第31回講座

(賀茂地域局)

(要旨)

「静岡大学、静岡県立大学、静岡文化芸術大学と賀茂地域1市5町の相互連携に関する協定」に基づき、賀茂キャンパスにおいて、静岡県立大学による「観光人材育成のための社会人講座」の第31回講座を令和5年10月20日（金）に実施する。

※参加費は無料、毎月1回開講予定（単発の参加可）

(概要)

日時	第31回 令和5年10月20日（金） 13:30～15:00 ※毎月1回継続実施
会場	静岡県下田総合庁舎別館2階 賀茂キャンパス ※別館1階玄関からお入りください。 ※駐車場台数に限りがあるため、公共交通機関の利用・車の乗り合わせに協力願います。
内容	講師：静岡県立大学大学院 八木 健祥 経営情報イノベーション研究科長 兼ツーリズム研究センター長 演題：『コロナ5類引き下げ後の旅行需要について』
対象	県民（定員48人）
参加費	無料
申込	 QRコードからの申込、もしくは、 静岡県立大学ツーリズム研究センターのメール：trc@u-shizuoka-ken.ac.jp、 又はFAX：054-264-5476に氏名、所属、電話番号を記入の上、お申込みください。 ※定員に達した場合は、参加をお断りすることがあります。
問合先	賀茂地域局地域課 電話：0558-24-2204 主催：静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科附属ツーリズム研究センター 共催：静岡県賀茂地域局

担当：賀茂地域局地域課

連絡先：0558-24-2204

賀茂キャンパス 観光人材育成のための 社会人講座

主催：静岡県立大学ツーリズム研究センター
協賛：静岡県賀茂キャンパス活用推進委員会

2023年 第31回

10月20日(金) 13:30～15:00

静岡県下田総合庁舎内賀茂キャンパス(下田市中531-1)

伊豆半島ジオパークの有効活用に関する考察
～スペイン・バスク海岸ジオパークにおける先進事例から～

講師：八木 健祥

静岡県立大学経営情報学部教授

1981年4月 日本銀行入行

2008年6月 日本銀行静岡支店次長

2019年4月 静岡県立大学教授

2020年4月 静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科
ツーリズム研究センター長

【専門分野】観光政策、交通経済論



【講話要旨】

伊豆半島がユネスコの世界ジオパークとして認定されてから今年で5年が経過しました。ジオパークとは、地球科学的な価値を持つ遺産を保全し、教育やツーリズムに活用しながら持続可能な開発を進める地域認定プログラムです。ポストコロナ時代におけるジオパークのあり方、関係市町としての向き合い方等について、スペイン・バスク海岸ジオパークにおける本年8月の調査結果を通じ考察していきたいと思っております。

働きながら学べる最新の観光情報。無料で参加できます。

メール、FAXもしくはQRコード
からお申込みください。

静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科付属
ツーリズム研究センター

Mail: trc@u-shizuoka-ken.ac.jp

FAX : 054-264-5476



令和5年度「静岡県立大学 高校生のための観光講座」第3回講座 ～ 高校生が感じる「下田の賑わい創出」に必要なこととは？ ～

(賀茂地域局)

(要旨)

観光を通じた地域課題の解決法を検討していく中で、高校生が自ら考えを発見し、提案(プレゼンテーション)する力を身につけることを目的に「高校生のための観光講座」(第3回目)を下記のとおり実施する。

この講座は、「静岡県立大学、静岡県立大学、静岡文化芸術大学と賀茂地域1市5町の相互連携に関する協定」(平成30年12月18日締結)に基づき、静岡県立大学が令和3年度から実施しており、今年度は、今回をスタートに全4回を予定し、第4回ではフィールドワーク等を踏まえての「下田市における観光を通じた地域活性化」について取りまとめ提言する。

※全4回開講 (①6/17(土)、②7/15(土)、③9/30(土)、④10/14(土) 予定)

(概要)

日 時	第3回 令和5年9月30日(土) 13:30~15:00(予定) ※全4回開講 (①6/17(土)、②7/15(土)、③9/30(土)、④10/14(土) 予定)
会 場	静岡県立下田高等学校
内 容	<p>講師：静岡県立大学大学院ツーリズム研究センター 八木 健祥 センター長</p> <p>○フィールドワーク結果取り纏め、アンケート調査結果を踏まえたグループディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回(7/15(土))に下田市内で実施したフィールドワークでの気づきなどを振り返り取り纏める。 (参考：7/15(土) フィールドワーク訪問先) Living Anywhere Commons 伊豆下田 (マネージャー 津留崎 鎮生 氏) コミュニティスペース羽衣 (佐藤デザイン事務所 佐藤 潤 氏) ・下田高校全校生徒を対象に実施した、高校生目線で見下田市における賑わい創出、持続可能なまちづくりに関するアンケートの結果について考える。
参加者	下田高校1～3年生の受講希望者：約10名 静岡県立大学の学生
問合先	<p>(講座内容に関すること) 静岡県立大学大学院経営情報イノベーション研究科 (担当：八木) 電話：054-264-5476</p> <p>(会場に関すること) 静岡県立下田高等学校 (担当：稲葉) 電話：0558-22-3164</p> <p>(その他に関すること) 賀茂地域局地域課 (担当：中村) 電話：0558-24-2204 ※ 当日：090-8375-8087 (中村)</p>

担 当：賀茂地域局地域課
連絡先：0558-24-2204

河津町及び下田市遺体収容所運営訓練の実施について

(賀茂地域局危機管理課)

(趣旨)

静岡県が策定した「静岡県第4次地震被害想定」において、南海トラフ地震発生に伴う多数の死者が想定されており、災害時における遺体措置対応は避けては通れない災害応急対策活動の1つである。

遺体措置対応の大項目「遺体収容所の運営」について、関係機関との連携や手順の確認を目的として、河津町及び下田市において遺体収容所の運営訓練を実施する。

(概要)

1 日時・場所・主催

(1) 河津町遺体収容所運営訓練

- 日時：令和5年10月25日（水）
 - ・会場設置：午前9時～正午
 - ・運営訓練：午後1時～3時
- 場所：河津町B & G海洋センター体育館（河津町浜 432-1）
- 主催：河津町、静岡県賀茂地域局、静岡県警察本部・下田警察署

(2) 下田市遺体収容所運営訓練

- 日時：令和5年11月19日（日）
 - ・会場設置：午前9時～正午
 - ・運営訓練：午後1時～3時
- 場所：旧稲梓中学校体育館（下田市箕作 350）
- 主催：下田市、静岡県賀茂地域局、静岡県警察本部・下田警察署

2 参加機関（予定）

静岡県（賀茂健康福祉センター）
 賀茂管内市町（遺体措置業務担当課、防災担当課）
 賀茂医師会、賀茂歯科医師会、東京電力パワーグリッド

3 運営訓練(午後の部)概要

- 遺体収容の手順及び連携確認
 （遺体搬入～受付～検視・検案～歯牙鑑定～遺体安置）
- 遺族(行方不明者)相談対応の手順確認

4 留意事項

- 駐車場スペースに限りがあるため、駐車に当たっては縦列駐車等、係員の誘導に従ってください。

担当：危機管理課
 連絡先：0558-24-2004

定例記者懇談会資料

防災講座の開催

(賀茂地域局 危機管理課)

(目的)

賀茂地域局危機管理課では、防災における「自助・共助・公助」の基本を踏まえた地域防災力強化のため、自主防災組織、教育機関、ボランティア組織等、地域の防災を担う組織と連携して、防災講座や連絡会議等の開催、訓練・研修等を実施している。

(概要)

実施日時	実施場所	実施対象	内容等	備考
10月2日(月) 9:20~10:05	稲生沢小学校 (下田市)	5年生	風水害講座	
10月3日(火) 13:25~15:05	稲取小学校 (東伊豆町)	4年生	I C T、地震体験	
10月4日(水) 10:10~11:45	浜崎小学校 (下田市)	4年生	イメトレ学校	
10月5日(木) 9:20~11:05	河津小学校 (河津町)	6年生	逃げ地図作り	
10月12日(木) 13:05~14:40	浜崎小学校 (下田市)	4年生	D I G	
10月13日(金) 10:35~11:50	伊豆下田分校 (下田市)	全校	防災ダック、地震体験	
10月13日(金) 13:00~14:35	下田小学校 (下田市)	4年生	防災まち歩き	
10月16日(月) 9:30~11:00	南伊豆認定こども園 (南伊豆町)	4歳児、保護者	防災ダック、地震体験	
10月16日(月) 14:30~15:15	河津小学校 (河津町)	4年生	サバイバル	
10月17日(火) 13:30~15:20	松崎中学校 (松崎町)	1年生	H U G	
10月19日(木) 9:20~12:00	河津小学校 (河津町)	1・2・3年生	地震体験、防災まち歩き	
10月23日(月) 10:10~11:45	下田小学校 (下田市)	4年生	イメトレ学校	
10月23日(月) 14:50~16:20	下田看護専門学校 (下田市)	1・2年生	地震体験、講話	
10月24日(火) 11:30~15:30	稲取中学校 (東伊豆町)	全校	意識・啓発、D I G	
10月25日(水) 10:00~11:00	松崎幼稚園 (松崎町)	3・4・5歳児	防災ダック、地震体験	
10月26日(木) 9:10~11:00	松崎小学校 (松崎町)	4年生	D I G	
10月30日(月) 13:20~14:55	稲生沢小学校 (下田市)	5年生	紙ぶるる	

(計 17回)

(講座内容 (抜粋))

【災害図上訓練「^{ディグ}D I G」】

県教委でも参加型防災訓練として推奨しているD I G (災害図上訓練) です。

危険箇所 (津波浸水予想区域や山・崖崩れの危険性が高いところなど) や避難場所、公共施設など、さまざまな防災情報を地図に書き込み、参加者全員 (グループごと) で地域の実情を知るとともに、災害時の対応を考える訓練です。防災情報を書き込み「こんなとき、どうする」というイメージトレーニングを行います。

職員のみなさんでD I Gに取り組まれた学校もあります。

校舎や学校の敷地図を用いたD I Gも実施しました。身近な校舎内に潜む危険箇所を確認し、地震が起こったとき対処の仕方や地震がおさまった後の避難の方法などを考えます。参観日の授業で保護者の方と子どもたちが一緒に行うことも有意義です。



(お願い)

学校での防災講座を取材する際には、各学校まで取材を行う旨をご連絡くださいますようお願いいたします。

講座の内容については、変更になる場合があります。

講座の内容に関するお問合せは下記担当までお願いいたします。

担 当：危機管理課 鈴木

連絡先：0558-24-2004

「伊豆・富士山歴史絵巻 Web スタンプラリー with 大河ドラマ館」を実施します

(東部地域局)

1 要旨

静岡県では、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放送を契機として、「ぶしのくに静岡県」を基本コンセプトに、歴史・文化資源を活用した誘客・広域周遊促進に取り組んでいます。

伊豆・富士山地域には、源頼朝・北条氏から江戸時代・幕末に至る、武家社会の成立から終焉までに関する歴史・文化資源が多く存在します。スタンプラリーでは、これらの歴史・文化資源に加え、この地域の観光施設、JA ふじ伊豆ファーマーズマーケット、「どうする家康 静岡 大河ドラマ館」、「どうする家康 浜松 大河ドラマ館」など、全68か所をチェックポイントとしています。

スタンプ5個取得から、静岡県の特産品が当たる抽選に応募することができます。この機会にぜひ、「ぶしのくに静岡県」を巡る旅を楽しんでください。

2 事業概要

項目	内容
時期	令和5年9月29日(金)～11月30日(木)
エリア	静岡県伊豆・富士山地域(20市町)、静岡市、浜松市
スタンプ取得方法	静岡県公式観光アプリ「TIPS」を活用したGPS取得方式
賞	・スタンプ獲得数に応じて抽選で270人に賞品(静岡県特産品)を贈呈
主催	・静岡県 ・ぶしのくに静岡県 伊豆・富士山周遊促進連絡協議会

3 PRイベント

日時：令和5年9月29日(金) 13:00～17:00

会場：道の駅 伊豆ゲートウェイ函南(田方郡函南町塚本)

内容：チラシ、ノベルティの配布

施設内ラジオブース「i-studio」から、生放送ラジオによる告知

(『K-MIX LIFE! LIFE! LIFE!』14:08～16:55)



スタンプラリー詳細ページURL: <https://bushinokuni-shizuoka.jp/rally/>

QRコード→



【静岡県公式観光アプリ「TIPS」(Tourism Information Platform of Shizuoka)】

静岡県の観光に役立つ限定記事やイベント情報、おすすめ体験など、王道からコアな情報まで幅広く掲載している無料スマートフォンアプリです。

本スタンプラリー参加者へ「TIPS」を通して県内観光情報を提供すると共に、参加者の年代や居住地、移動経路などのデータを収集し分析することで、今後の観光戦略への活用を目指します。

担当：東部地域局地域課 駒谷
連絡先：055-920-2139

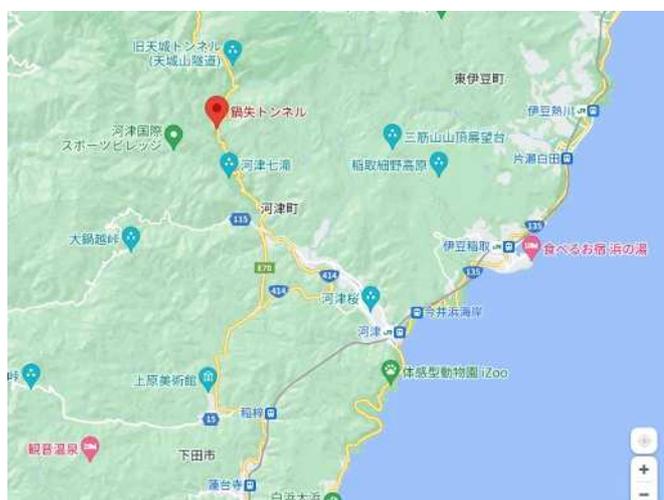
軽油引取税に係る自動車用燃料の路上抜取調査結果について

(下田財務事務所)

(要旨)

令和5年9月12日、東海四県が連携し、軽油引取税調査強調月間の一環として、主要幹線道路等で一斉に路上抜取調査を実施した。下田財務事務所は、同日午後1時20分から午後3時20分まで、国道414号線上り線（賀茂郡河津町梨本地先：旧料金徴収所跡）において、自動車用燃料の路上抜取調査を実施し、走行中のディーゼル自動車を停車させ、燃料の採取・分析を行った。

項目		調査件数 (実施回数)	抜取本数	うち、ケマリン反応が認められたもの		うち、その他の異常が認められたもの	
				本数	割合	本数	割合
静岡県	下田	1 件	1 1 本	0 本	0 %	0 本	0 %
	沼津	1 件	2 3 本	0 本	0 %	0 本	0 %
	静岡	1 件	2 0 本	0 本	0 %	0 本	0 %
	浜松	1 件	2 0 本	0 本	0 %	0 本	0 %
	計	4 件	7 4 本	0 本	0 %	0 本	0 %



(参考)

この調査は、不正軽油による脱税を防止し、併せて軽油引取税の適正な賦課徴収について理解を求めることを目的として実施する。

(根拠規定：地方税法第144条の11第1項第3号及び同条第3項)

担 当：課税課税第2班
連絡先：0558-24-2017

保育施設向け 「感染症対応研修会」を開催！

（静岡県賀茂健康福祉センター地域医療課）

（目的）

マスクを着用できない乳幼児が利用する保育施設等では、インフルエンザや感染性胃腸炎等の感染者が発生すると感染拡大につながるおそれがある。

このため、当該施設においては、冬季に流行する感染症等について正しく理解し、適切な感染対策を実施することが重要である。

そこで、管内保育施設等の職員を対象に、平時からの感染予防対策を理解し、有症状者への適切な対応方法を学ぶことを目的とした研修会を開催する。

（概要）

日 時	令和5年10月3日（火）午後2時から4時まで	
対 象	管内の保育施設等の職員	
会 場	静岡県下田総合庁舎別館2階第8会議室（下田市中531-1） （※ハイブリッド形式）	
講 師	伊豆今井浜病院 感染管理認定看護師 臼井まり子	
内 容	午後 2:00 ～2:10	連絡事項 「感染症発生情報の報告について」
	2:10 ～2:40	講義 「今年流行している感染症、冬季に流行する感染症について」 ・インフルエンザ、感染性胃腸炎等の感染症対策
	2:40 ～2:45	休憩（演習準備）
	2:45 ～3:15	演習 「感染性胃腸炎患者の嘔吐物処理について」 ・嘔吐物処理のデモンストレーション・実技
	3:15 ～3:25	質疑応答
	3:25 ～3:30	閉会（※オンライン受講者はここまでで終了）
	3:30 ～4:00	実習：嘔吐物処理セット内容、手技確認（※会場参加者のみ参加）

担 当 地域医療課 平山

連 絡 先 0558-24-2052

定例記者懇談会資料

10月は里親を求める運動月間（里親月間）です

（静岡県賀茂健康福祉センター）

1 概要

令和5年10月1日（日）～10月31日（火）は、「里親を求める運動月間（里親月間）」です。里親制度のことをより知ってもらい、里親になりたい方を増やすために、賀茂健康福祉センター管内で以下のキャンペーンを実施します。

タイトル 「もっと知って里親のこと！」

- 期間 令和4年9月29日（金）～10月31日（火）
- 会場 静岡県下田総合庁舎1階ロビー
- 内容 里親関連ポスターの掲載・啓発品（文房具）の配布

2 里親について

(1) 里親とは

私たちの身近には、経済的困窮、虐待、親の行方不明等さまざまな事情で家庭での養育ができなくなった子どもたちがいます。

そのような子どもたちを自分の家庭に迎え入れ、あたたかい愛情と正しい理解を持って養育する人のことを「里親」と言います。

(2) 里親に求められる役割

子どもたちの中には、これまでの生活の中で大人との信頼関係が築けず、さまざまな問題を引き起こす子もいます。（（例）顔色を伺う、叱責を恐れて嘘でごまかす、感情のコントロールが苦手 など）

里親による養育には、このような子どもの気持ちに寄り添い、**適切な生活や養育者のモデル**となること、**関係機関（学校や児童相談所等）と連携**していくことが必要です。

(3) 里親として養育する期間

養育期間は必要に応じ、数日から数年間とさまざまです。（（例）子どもの自立や家庭復帰まで、週末や長期休み（ショートルプラン）、緊急一時保護 など）

(4) 里親の現状（令和4年度）

（人）

	静岡県全体（5児童相談所計）	内 賀茂児童相談所
認定里親数	373	9
委託中の里親数	84	3
里親委託児童数	95	3

◎里親希望・問合せ先

各市町福祉窓口・児童家庭支援センター・児童相談所

担 当：相談課 高田
連絡先：0558-24-2038

農業経営改革講座 経営計画発表会

(賀茂農林事務所)

(要 旨)

当事務所では、経営発展に取り組む意向のある農業者等を対象に、経営改革講座を令和5年度は、これまでに4回開催し、経営計画の作成を支援しています。

第5回となる今回は、受講者がこれまでの講座を通して作成した、経営計画を発表し、講師による講評等を通じて、計画の実践に向けた足掛かりとします。

(概 要)

- 1 日 時 令和5年10月17日(火) 午後1時30分から午後4時55分まで
- 2 会 場 静岡県下田総合庁舎2階第4会議室 (予定)
- 3 日 程 13:30～13:35 開会、挨拶
13:35～15:50 受講生による発表(15分)、講師による講評等 (25分)
15:50～16:10 過去の受講生現況報告
16:10～16:50 講師による総評
16:50～16:55 激励の言葉・閉会

4 受講者 3名

発表順	受講生が在住する市町	品目
1	南伊豆町	イチゴ・トマト
2	東伊豆町	花き
3	東伊豆町	果樹

- 5 講 師 株式会社イワサキ経営 マーケティングアドバイザー 宮口巧氏

- 6 主 催 静岡県賀茂農林事務所

7 その他

経営計画の個人情報については、報道にあたって御配慮いただきますようお願いいたします。

担 当：企画経営課 古屋

連絡先：0558-24-2076

くくりわな技術向上講習会の開催について

(賀茂農林事務所)

(要 旨)

わな狩猟免許を取得したばかりの初心者等を対象とした猟期前の「わな」講習会を開催し、捕獲技術の向上及び新たな捕獲従事者の掘り起こしにより、農林業における獣害の低減と山村地域の保全を図る。

(概 要)

- 1 主 催 公益社団法人静岡県山林協会賀茂支部、静岡県賀茂農林事務所
- 2 対 象 賀茂地域在住のわな狩猟免許を取得したばかりの初心者（取得予定者も含む）等 定員 20名
- 3 開催日時 令和5年10月11日（水） 9時30分から午後4時まで
- 4 開催場所 講義：河津町役場
実習：風土の森（河津バガテル公園隣）
- 5 内 容
 - ・初心者を対象として、わな猟に関する基本的な知識・技能を習得するための講習です。
 - ・安全かつ効率的に捕獲できる技術を身につけます。
 - ・参加費無料
- 6 講 師 NPO法人ホールアース自然学校より派遣

7 昨年度の様子



講 義



実 習

担 当： 森林整備課
連絡先： 0558-24-2082

参加費無料

くくりわな技術向上講習会

賀茂地域では、ニホンジカなどによる農作物や森林の被害対策として、市町を窓口とした被害防止（有害）鳥獣捕獲等に取り組んでいます。本講習会では、くくりわなを使用して、安全かつ効率的に捕獲できる技術を身に付けます。

狩猟免許を持っていても実践したことがない方や捕獲効率を上げたい方等ぜひ、ご参加ください。

日 時 令和5年10月11日（水）

午前9時30分から午後4時まで

会 場 河津町役場及び河津バガテル公園風土の森（河津町峰）

対 象 わな免許をお持ちの方（今後、わな免許取得予定の方も含む）

参加費 無料（要事前申込）

定 員 20名（定員になり次第締切）

講習会内容

✚ 講義（9:30～12:00）

- ・里山でのわなによる捕獲について
- ・ニホンジカの生態について 等

✚ 実技（13:00～16:00）

- ・わなづくり講習
- ・フィールド実習 等

※新型コロナウイルス感染拡大状況により、延期もしくは中止になる可能性があります。御了承ください。

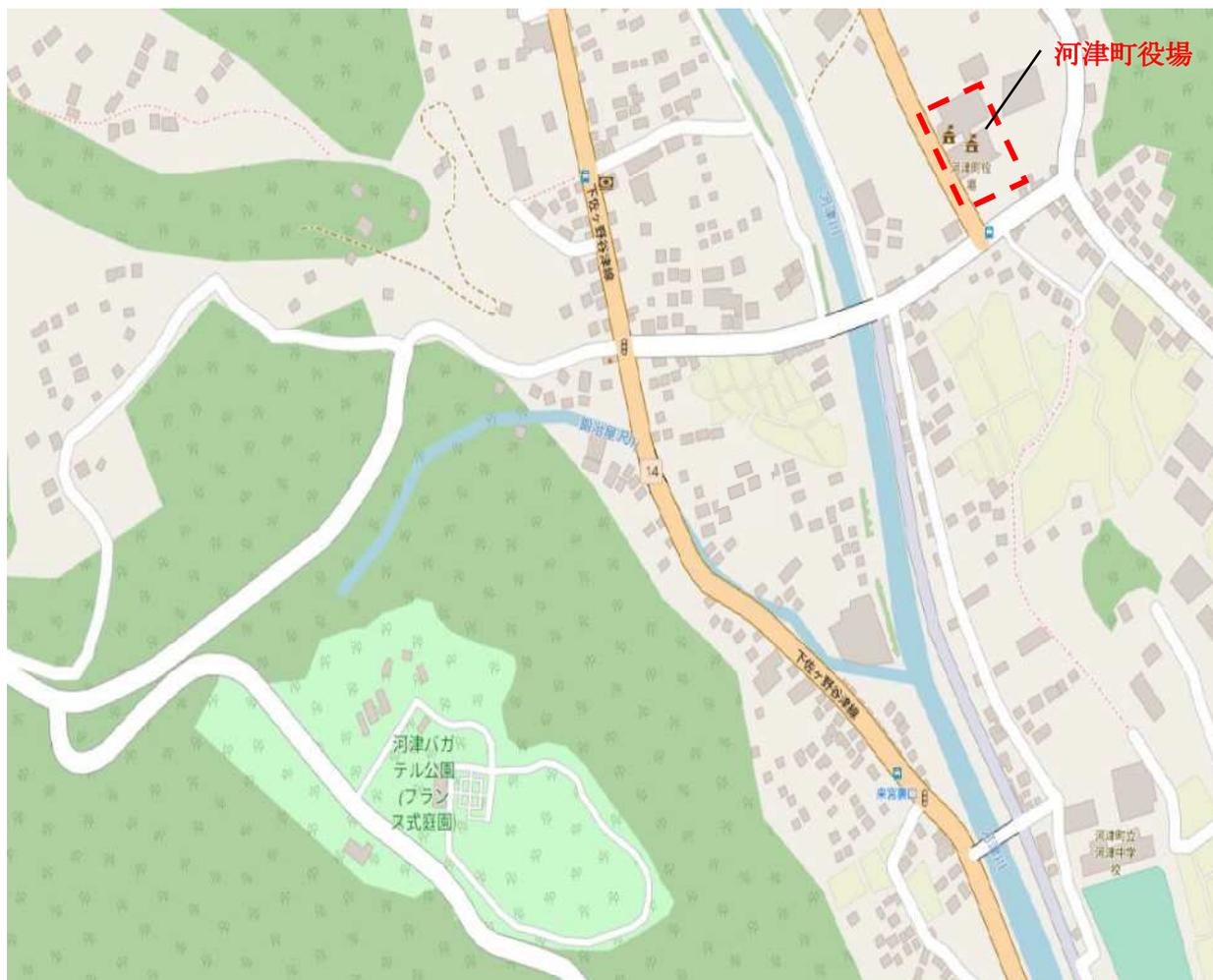
申込み・問合せ 静岡県賀茂農林事務所森林整備課

電話 0558-24-2082 FAX 0558-24-2163

申込方法 裏面の参加申込書により FAX 又は郵送にてお名前、ご住所、電話番号を明記してお申込みください

申込期限 令和5年10月5日（木） ※ただし、先着20名

主催：公益社団法人静岡県山林協会賀茂支部
静岡県賀茂農林事務所



静岡県賀茂農林事務所森林整備課 あて
 〒415-0016 下田市中531-1
 ファックス番号 0558-24-2163

10月12日 くくりわな技術向上講習会 参加申込書

お名前	ご住所	電話番号	狩猟免許の有無	鳥獣捕獲経験の有無

※上記の個人データは、この講習会以外で使用することはありません



【下田土木】土木のちからで、軟弱地盤を攻略します！



～静岡県内初！ルートパイル工法を採用した砂防堰堤建設へ～

(下田土木事務所)

1 要旨

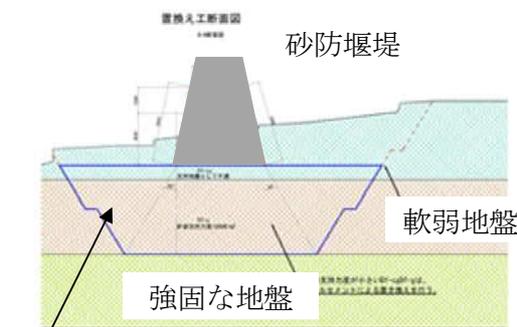
昨年度、台風8号で被災した松崎町雲見地区における砂防堰堤建設現場において、軟弱地盤対策として、「ルートパイル工法」を採用した砂防堰堤建設工事を実施します。通常の軟弱地盤対策は、コンクリート等で置き換える「置換え工法」が一般的ですが、狭隘で緊急を要する場合等に効果を発揮する「ルートパイル工法」を全国的にも珍しい砂防堰堤工事に活用することにより、低コストかつ早期に完成することができます。

2 今後の予定

「雲見川支川上の沢川」（賀茂郡松崎町雲見地区）箇所において、10月から「ルートパイル工法」に着手する予定です。取材及び詳細については下記担当に連絡をお願いします。

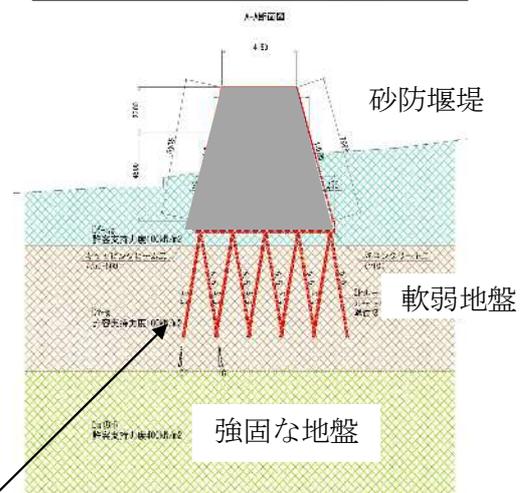
3 『一般的な基礎工』と『ルートパイル工法』の比較

置換え工法（一般的な工法）



強固な地盤までコンクリートに置換え

ルートパイル工法（今回）



軟弱地盤にパイル（小口径場所打ち杭）を網目状に施工し地盤を補強

特徴

- ・費用が高い（C=56,000千円）
- ・施工日数が長い（2か月）
- ・大幅に掘削するため、施工性が悪い

特徴

- ・費用が安い（C=53,000千円）
- ・施工日数が短い（1か月）
- ・杭の打設（掘削不要）のみなので、施工性が良い

担当：企画検査課 土屋
電話：0558-24-2112